

日本画・水墨画の 教材研究と実践

最終更新日：2015年8月28日

美術教育講座
准教授
松久 公嗣

キーワード ・日本画 ・水墨画 ・伝統文化 ・絵画 ・鑑賞

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

日本の伝統的な絵画形式となる日本画について、古典的な技法や材料研究ならびに日本画の制作・研究をおこなっています。学習指導要領においても、我が国の美術に関する学習を深めることが重要とされており、水墨画の授業開発を中心に、小学校・中学校・高等学校における実践を進めています。

これまでに進めてきた内容は以下の通りです。

- 1:水墨画の指導 濃淡を中心に水の使い方に着目した水墨画の習得
- 2:水墨画の指導 筆法に着目した水墨画の習得
- 3:日本の伝統的な版画技法の習得と墨の濃淡に着目した「木版水墨画」の習得
- 4:金箔を用いた黄金背景に描く日本画



成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

学校教育において、水墨画指導の需要が高まっています。しかし、単に筆と墨を用いた絵画表現が日本画や水墨画の習得であるとの間違った認識も多く、各学校の指導者が日本画や水墨画の本質を学ぶ必要があります。

臨画から創作に向けて、発達段階や経験に即した課題を提供し、指導法についても助言することが可能です。また、ゲストティーチャー(GT)として実演を依頼されることも多く、授業の指導からGTとしての実演、各種教員研修会での指導など、多くの場面で協力することが可能です。



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

水墨画の指導

- 日の里小学校 2009年
- 花尾中学校 2012年
- 沼中学校 2012年
- 自由ヶ丘南小学校 2013年
- 熊本必由館高校 2013年

水墨画ワークショップ in Milano 2012年